

2部

フィールド フィールド
現場から現場へ

精神保健福祉援助実習を終えて ～実習終了者インタビュー～

通信教育部社会福祉学科 **中村 愛子**

学生 MESSAGE

今年の7月に精神科病院で精神保健福祉援助実習を終えた中村愛子さんに実習の感想等お聞きしました。

Q 精神科病院での実習はいかがでしたか？

—私の実習先は、実習生用にプログラムなどが用意されているわけではなく、実習生の自主性を尊重したスタイルでしたので、自分自身で毎日の流れを組み立て、自分自身で動いていく必要がありました。

実習全体を通しては、相談室業務のほか、デイケアや作業療法への参加、訪問看護同行、院内断酒会や家族会学習会の見学など、幅広く同席させていただきました。デイケアや作業療法においては、患者さんと一緒にの活動を通して同じ時間を共有することで、患者さんの色々な表情や行動、1人ひとりの個性を理解することにつながり、他職種OT※1・CP※2から、PSW※3とは違った視点に立ったお話も聞くこともできました。

また、実習中は時間が空いた際には病棟へ足を運び、患者さん達との関係性の構築に努めていました。

※1 OT＝作業療法士 ※2 CP＝臨床心理士 ※3 PSW＝精神保健福祉士

Q 実習中、どのようなことに苦労されましたか？ 特に医療機関の実習において、入院形態や諸制度について事前学習の不足を指摘される実習生が少なからずいますが…。

—相談室業務において、特に面接同席をさせていただいた中で、諸制度（社会保険関係、精神保健福祉法等）の知識不足を痛感することが多々ありましたが、逆に、これまでテキストだけの解説ではどうしても具体的な

イメージが掴みづらかった事が、この実習を通して根本からの理解に結びつくことができたというプラスの収穫もたくさんありました。

Q 実習先の指導者の方や患者の方とのコミュニケーションがうまく図れないことで、苦勞される実習生が毎年います。実習先の指導者の方またはその他のスタッフ、患者の方との関係はいかがでしたか？特にコミュニケーションを取るために工夫されたことや気をつけたことはありますか？

—基本的なところで言えば、指導者や身近な病院スタッフだけでなく、会う人には必ず挨拶をすることです。実習生として笑顔で明るい挨拶というのはそれだけで印象も良くなるし、これは患者さんとのコミュニケーションをとる上でも大切なことだと思います。

しかし、特に長期入院されている患者さんは、限られた空間の中で生活されており、彼らの立場を考え、同じ目線に立たなくてはなりません。実習のためだからと自己中心的な考えで患者さんに、むやみやたらにバンバン話しかけたりするものどうかと思います。まずは相手の人となりを理解しようとする姿勢が大切だと思います。

Q 実習の前と後でご自身に具体的にどのような変化がありましたか？

実習を終えられた今の率直なご感想とあわせてお聞かせください。

—精神科病院という現場において、テキストやスクーリングだけでは学ぶことのできない非常に多くのことを肌で感じ、吸収することができたと同時に、実習中は、自分の未熟さに直面したり、自分はPSWとしてふさわしくない人間なのかもしれないと悶々と考えてしまったり、悩み多き実習であったことは確かです。

しかし、自分のマイナス面と向き合い自分を知るということは、ただそれを反省して修正するというのではなくて、自分自身を多面的に知り、

ありのままを受け入れ、自分の個性を上手に生かすことだということを学びました。

また、諸制度や社会資源に精通していないPSWは患者さんに不利益を与えてしまいます。私には、まだまだ知識や経験の不足が目立つばかりですが、この実習では、ただ制度について学ぶのではなく、その制度を必要としている人に関連づけて考えていくことで、制度のもつ意味・目的・内容をより具体的に理解することができました。

Q 精神保健福祉士取得後のご予定についてお聞かせください。

—現在は、障害者就労継続B型支援事業所に勤務していますが、諸事情から、もっと資格を活かせる別な職場への転職も視野にいれながら勉強をしています。

Q 国家試験まで残り3カ月となりました。現在、どのような国家試験の勉強をされていますか？

—昼間は仕事をしていて、家に帰れば子供もいるので、勉強時間は主に夜に限られます。私は、ワークブック※4と問題集※5を併用しながら、とにかく繰り返し読んで解いてを反復している感じです。どうしても頭に入っていくような覚えにくい分野は、大きな紙に書いて部屋の壁やトイレに貼ったりしています。

※4 中央法規出版『精神保健福祉士受験ワークブック2012[専門科目編]』・『社会福祉士・精神保健福祉士受験ワークブック2012[共通科目編]』

※5 中央法規出版『2012精神保健福祉士国家試験過去問題集 第11回～第13回全問完全解説』・『精神保健福祉士国家試験模擬問題集2012』

Q 最後にこれから実習を行う学生の方へのアドバイスをお願いいたします。

—自分が実習で何を学びたいのかを明確にしておくことです。また、実習

では、常に自分のしていることの目的や意味を考え、実習内容を振り返る時間を大切にしながら、辛くてもとにかく最後まで頑張ってください。

◆家庭と仕事と国家試験勉強にお忙しい中、インタビューにご協力いただきありがとうございました。これから徐々に寒くなってまいります、くれぐれも体調管理に留意されてください。来年、晴れて合格された後は、利用者の方の視点に立ったPSWとして益々精神保健福祉の現場でご活躍されますことを祈念いたします。

9月卒業生アンケートより（1）

9月に卒業された方々からレポート、科目修了試験、実習などについてのご苦勞や対処方法をメッセージとしてお寄せいただきました。ごく一部ですが、以下と p. 66に紹介させていただきます。

なお、これまでに卒業生からいただいたメッセージは、『学習の手引き』2011年版6・7・8章巻末や通信教育部ホームページの最下部・右下「卒業生の声」の欄から閲覧が可能です。学習を進めるにあたって、新たな発見があるかもしれません。どうぞご利用ください。

●レポート学習について

- ・大学の通信教育は大変なことも多く、焦りと不安が次から次へと出てきます。話を聞けば、皆そうだと思います（私もその一人です）。ですが、東北福祉大学通信教育部で学んだことは、さまざまにいかせると思います。あきらめないで続けて、ここまでこれで良かった！
- ・自分のペースで勉強を進めることは大切ですが、科目の中には演習を申し込むために先にレポート課題や科目修了試験に取り組む必要がある時もあるので、日程を機関誌（With）や課題集を見て確認して下さい。また、なぜ自分が大学で覚え、学んでいるのかを考えながらいくと、充実した過ごし方ができると思います。
- ・心理学関連の科目は、難しかったです。用語もたくさんで、それをわかりやすく、自分なりにレポートにまとめたり、理解することに苦勞しました。
- ・「優」をとろうと思わず、まず「理解したことを土台」に「書いて出すこと」ではないでしょうか。
- ・『レポート課題集』の課題とアドバイスを覚えるまで読むと、その科目で学ぶべきこと、レポートに求められていることがわかる。そのうえで、テキストを読むと自分が何を書けば良いのかがわかりやすかったです。

（p. 66に続く）